

呼吸苦が出現し入院。医師から告げられたALS（筋萎縮性側索硬化症）という診断は、道子さんをどん底に突き落とした。主治医や担当看護師は、人工呼吸器を着け、手足も思うように動かせなくなった道子さんに、退院したら、もう二度と外には出られないとお話しし、本人もご家族も真つ暗闇の中退院した。

在宅ではどうか？ Always Laugh & Smile、いつも笑って笑顔でいられるように。元々、お世話好きの道子さん、フランス語を習い、地域では学童保育員を務め、各種ボランティア活動も率先して行い、そして森山良子さんの追っかけをするという、とても活動的な道子さんを家に閉じ込めておくわけにはいかない。お楽しみ係と称する私は、とにかく呼吸、栄養など生きることに全く心配しないで済むようにまず整え、本来の道子さんらしさを取り戻せるように、“チーム道子”を作り、全力で励ます。

まず最初のお出かけは、ミュージアムザ川崎での森山良子さんのコンサート、東京交響楽団との共演。痰の吸引などの医療的処置や、車イスごと乗れる介護タクシーの手配など、親孝行で女傑の娘さんとの準備を行い、道子さんは自分で選んだとおきの白いスーツ、靴で装い、家を出発した。森山良子さんの生の声を聴けるなんて！ それもフルオーケストラで！ 感動の涙でいつもより鼻水や唾液が増えたが、2力所につなげた自動吸引システムでクリア！ もう二度と外に出られないと思っていたのに、こんなことができるなんて！

さて、第2弾！ 趣味は道子さん自身であると答えるご主人とデートした場所、山下公園。そして、

第3弾は、道子さんの仲良しの姉妹に、大好きな京都の桜を見せてあげたい！ 実は古稀を迎える記念にと、道子さんは長女さんと企画し、新幹線に乗って、京都のホテルに泊まり、介護タクシーで、元気なときに行った桜の名所を巡った。そして私も翌日京都で合流し、ホテルのレストランでランチをご馳走していただいた。さらに駅のお土産屋さんで、あの人にはこれ、この人にはこれ、と友人たちにしつかりとお土産を買い、道子さんは大満足で無事帰宅した。

さて、第4弾、第5弾、今では路線バス＋横須賀線で鎌倉へ行ったり、横浜で美術館巡り、大好きな百貨店でのお買い物、ジャズを聴きに大森まで…。（今は、新型コロナウイルスのため、外出は中止している）

今度は道子さんが大好きな海外旅行ができるようにと、私は車イスの母と現地のバリアフリー状況を確認しその度に提案している。果たして？ 道子さんは目をキラキラさせて私の提案を聞いている。

（お楽しみ係の呼吸器科医 武知 由佳子）



堀口 順一朗：イラストレーター

庭園から日本家屋まで幅広い建築表現を有し、ユーキャンなど、多くのグラフィック・マップの製作を手掛ける。また『太平記』（学習研究社）などの歴史物や人物像から、釣り本の解説イラストまで多岐にわたって活躍。

ベッドたちが歓迎してくれる。訪問診療は本当に楽しいですよ。



〈ウサギちゃん〉雄なのに心優しく、猫にも雌に間違えられるほど。抱くとどっしりと身を委ねて、抱かれること、ウエルカム。



〈大ちゃん〉お母さんはスコティッシュフォールドで、お父さんは雑種。訪問時、必ずカルテの上に乗り、みんなの中心にやっています。



第3弾は、古稀の記念に大好きな京都の桜。



（上）第1弾は、追っかけまでした森山良子さんのコンサート。（左）第2弾は、ご主人とデートした山下公園に再び。

武知 由佳子 たけち ゆかこ

内科・呼吸器科、医師。2007年、開院。障がい・病気があっても、住み慣れた家・地域で暮らし続けたい、その思いを尊重した医療看護を提供。からだのケアだけでなく、たましい、こころのケアも含めた全人的ケアを行っている。また、残されるご家族のこころのケアのサポートも。訪問リハビリテーションに力を入れ、特に呼吸ケアスペシャリスト、緩和ケアスペシャリストによる訪問診療、ナースング、訪問リハビリを行っている。

▼いきいきクリニック

〒212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町2-34-2
Tel: 044-522-5556 Fax: 044-522-2232
E-mail: ikiiki.clinic@gmail.com